

自分と仲間と自然のこえを聞く 5年自然学校

5月22日（月）～5月26日（金）にかけて、5年生の自然学校を実施しました。新型コロナの対応について大きく心配することなく、天候にも概ね恵まれ、全員元気でやりきることができました。

1日目、顔合わせの後、各班ごとにゲームをしたり、班のポスターを作ったりして、交流を深めていきました。雨だったので、夜はキャンドルサービスを行いました。



班のポスター紹介

2日目は、明延を拠点に活動しました。午前中は、明延鉱山の坑道探検。ごつごつした岩肌や、かつて動いていた掘削機などがそのまま残っていて、歴史ある養父市の遺産を明延の町について理解を深めました。



大型の機械にくぎ付け

登山日和でした。途中、養父市の市木であるブナの原生林なども見られ、自然を満喫することができました。前日までの雨で足元がぬかるんでいるところがあり、下山中は尻もちの連続となりました。



氷ノ山山頂でお弁当

4日目は、豊岡の円山川公苑に移動。午前中は救命艇として利用されるカッターで、力を合わせて目的地をめざし、ミッションをクリアしました。午後は3人乗りのカヌーや一人乗りのカヤックの乗船を体験しました。割と早くにコツをつかみ、池の中を思い思いに漕ぎ進めて楽しんでいました。



力を合わせてカヌーを操縦

最終5日目は、竹野スノーケルセンターで磯観察でした。水はまだ冷たかったですが、活動が始まったら夢中で生き物の観察や採集をしました。

子どもたちは、日に日に話の聞き方が良くなるなど集団行動がレベルアップし、他校との交流も進んで、充実した自然学校となりました。



磯観察で生き物探索中

よく学びよく楽しんだ修学旅行 6年

6月1日(木)～2日(金)、6年生と一緒に、一泊二日の修学旅行に行ってきました。2日目は、全国で大雨警報の出る状態でしたが、幸い日程を変更することなく、全員元気に旅行を満喫してきました。

1日目、新幹線で広島に向かいました。子どもたちは、自家用車で移動することが多いようで、新幹線、路面電車、フェリーなど、「初めて乗る」という子が多くいました。



路面電車を降りて最初に目に飛び込んできたのは原爆ドーム。崩れた外壁、むき出しの骨組みが、爆発の威力を今に伝えています。昼食をはさんだ平和記念資料館では、写真や実物で、原爆の惨状を目の当たりにしました。続いて平和記念公園内の碑巡り。ボランティアガイドさんに説明してもらうことで、ポイントがよく分かり、子どもたちもとても集中して話を聞いていました。例年になく公園内が空いていて、じっくり学習できたのは、

子どもたちの日頃の行いが良いからでしょう。

次に、宮島の厳島神社を訪れました。ちょうど干潮の終わりで、シンボルの大鳥居近くまで歩いていくことができたのはラッキーでした。そのあとは、お待ちかねのお土産タイム。今年は、狐のお面などが人気。シカの角のかぶり物などを身に着け、食べ歩きも入れながら、思い思いに買い物を満喫していました。



2日目、最初に訪れたのはヌマジ交通ミュージアム。まず、「光」についての科学実験を見学。光は曲がること、赤、青、黄の3原色でさまざまな色が表現されることなどを楽しく学びました。館内には、車、船、飛行機など、さまざまな乗り物のミニチュアが陳列されており、体験コーナーなどで楽しく過ごしました。

旅の締めくくりは、みろくの里。ミルククーポンでお腹を満たした後、スーパーバイキング、観覧車、メリーゴーラウンドと、3時間をフルに活用して遊園地を満喫しました。あいにくの雨で合羽を着ての活動でしたが、子どもたちは常にルールを意識して、上手に折り合いをつけながら楽しんでいたように思います。

あいさつや礼儀を忘れず、時間やルールを守り、オンとオフを切り替えて楽しんでいて、充実した素晴らしい旅行でした。

